

「人間の表現の快樂は、かくも多様である。」というこの感覚は、生きる勇氣のようなもの
さえも与えてくれた。なんと、これはアートの力ではないか。

「このようにしか生きられない。」「このようにしか世界をつかめない。」「このようにしか
世界と向き合えない。」「上等である。これほどに信頼できるものがあるだろうか。……「私あるいは私」への私情」2004年

ボーダレスの証明

はた
た
よ
し
こ
と
ら
う

衝動

2021年6月5日(土)ー8月29日(日)

開館時間：午前11時～午後5時 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

ボーダレス・アートミュージアムNOMA

観覧料：一般300円(250円) 高大生250円(200円)

※中学生以下無料 ※障害のある方と付添者1名無料 ※()内は20名以上の団体料金

主催：ボーダレス・アートミュージアムNOMA

社会福祉法人グロー(GLOW)「生きることが光になる」

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協力：「羊会」とりえすすかけすすかけ絵画クラブ、近江八幡観光物産協会、

しからき会音楽青年寮、studioCOCCA、しみんふくし滋賀、ハンパン

ボーダレス・アートミュージアムNOMA

企画展

1991年、兵庫県西宮市でボランティアとして絵画教室を開いた。1995年頃からは、日本文学研究を開始し、障害のある人々の生活を駆り立てました。ボランティアの活動から、館の名称である「NOMA」のコンセプトを見出すと、NOMAのアートディレクターとしての活動を開始し、NOMAの立ち上げに深く関わり、開館後はアートディレクターとして、数々のポータルな展覧会を企画した。

「はたよしこ」は、アートディレクターとしての実践は思想とともに進みます。本展では、「はたよしこ」のロケットで走り抜け、思い描き、また行動に挑戦していただきます。



はたよしこ 1949年、岡山県生まれ、兵庫県在住。岡山大学教育学部特設美術科卒業。1970年代から2000年初頭にかけて絵本作家として活動するかたわら、子供の造形教室に関わる。ある特別支援学校の作品展で出会った絵に感銘を受け、1991年、ボランティアとして兵庫県西宮市のすずかけ作業所で絵画クラブを始めた。1995年から、日本全国の作者のリリースを開始。NOMAの立ち上げに深く関わり、開館後はアートディレクターとして、数々のポータルな展覧会を企画した。

